

沖縄を日米で 非軍事拠点に

中京大でシンポ

沖縄基地問題をテー

マにした公開シンポジウムが十日、昭和区八事本町の中京大で開かれた。外交政策などの専門家が「基地の代わ

りに、人道支援や災害救援などの非軍事分野で日米が連携する機関を沖縄に置くべきだ」と訴えた。

参加したのは、今年二月に沖縄基地問題に関する提言を発表した民間シンクタンク「新外交イニシアティブ」（東京都）の評議員で元内閣官房副長官補の柳沢協二さんや、元沖縄タイムス論説委員の屋良朝博さんら五人。

屋良さんは提言を踏まえ「運用を見直せば基地の整理縮小は可能だ」と話した。シンクタンク事務局長の猿田

佐世弁護士は「沖縄の方々を米国議会などに仲介する活動の中で、基地の代替案を示すことができなかった」と述べ、提言づくりのきっかけを説明した。

東京新聞（中日新聞東京本社）の半田滋論説委員兼編集委員も登壇。中京大の佐道明広教授が司会を務め、市民百十人が聞き入った。